

※ 今週のアウトルック (6/10~6/14)

先週は、全般的にはドル安、クロス円高の流れとなりました。
金曜日に発表された米国雇用統計は予想よりも悪く、ドル売りが加速してそのままNY市場を終了しています。

今週は米国雇用統計の悪化、利下げ観測の拡大といった所がどの程度月曜日の市場に影響を与えるかを、まずは見極める必要があります。

先週ドル円は、米国雇用統計の悪化を受けて、108円付近で終了しています。
週初めから108円付近のサポートラインを割りこもうとする動きはあったものの、
チャートの的には週末の雇用統計を見定めようとする動きが強かったように思います。

今週は、雇用統計の悪化をアジア市場がどう受け止めるかを、まずは見極める必要があるように思います。

ただ、ユーロドル、ポンドドルなどの上昇トレンドが強くなってきていることなどから、
108円付近のサポートラインをブレイクしようとする動きは活発化しそうです。

ドル円の予想レンジは106円から109円です。

ユーロ円は、ユーロドルの上昇などから回復基調が強くなってきています。

今週は、テクニカル的には123.5円から124円付近のレジスタンスラインをブレイク
できるかどうかのポイントとなりそうですが、今週中にブレイクできる可能性は
いささか少ないように思います。

ユーロ円の予想レンジは122円から124円です。

ポンドは、対ドルでは上昇トレンド入りの可能性が強まっているものの、
ポンド円は判断が難しい状況が続いています。

136円を割りこもうとする動きが強まった場合には、要注意です。

ポンド円の予想レンジは132円から140円です。

メキシコ関税引き上げ問題は解決に向かい、利下げ期待などもあり、NYダウは上昇トレンドが
強くなってきています。ドル円との相関性の乖離には注意を払う必要はありそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。